

| | |
|---|--|
| 〔開会の宣告〕 遠藤洋路 教育長 | 令和2年9月定例教育委員会会議を開会いたします。 |
| 〔会議の成立〕 遠藤洋路 教育長 | 本日は、私の他5人の委員が出席しておりますので、この会議は成立しております。 |
| 〔公開の審議〕 | 会議録署名人は、泉委員と小屋松委員とします。 |
| 日程第1 前回来議録等承認 | |
| 遠藤洋路 教育長 | 8月27日開催の令和2年8月定例教育委員会会議を各委員のお手元に配布しております。この会議録を承認することに、ご異議はありませんか。 (異議なしの声) 異議なしと認め、前回来議録を承認することに決定します。 |
| 日程第2 事務局報告 | |
| <u>(1) 事業・行事等報告について</u> | |
| <ul style="list-style-type: none">○ 前回定例会議（R2. 8. 27）以降の事業・行事報告○ 今後の予定 | |
| 日程第3 議事 | |
| 遠藤洋路 教育長 | 本日の会議の内容につきましては、配布しております会議日程のとおりですが、議第67号 教育長の営利企業等の従事については、私の一身上に関する案件です。地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定により、当事者は、議事に参与することができないこととされていますので、議事の進行を第一職務代理者である泉委員にお願いしたいと思います。 |
| 泉薫子 委員 | それでは、私が議事の進行を務めさせていただきます。 教育長から当事者は、議事に参与することができないのご説明がありましたが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項ただし書の規定により、教育委員会の同意があるときは、会議に出席し、発言することができます。 |

| | |
|--|---|
| | <p>教育長に、このまま会議にご出席いただくことにご異議はありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p> <p>泉薫子 委員 異議なしと認めます。教育長には、このまま会議にご出席いただくことに決定いたします。</p> <p>遠藤洋路 教育長 一旦出ます。</p> <p>泉薫子 委員 一旦出られるということで。</p> <p>遠藤洋路 教育長 よろしければ。</p> <p>泉薫子 委員 はい、分かりました。</p> <p>(教育長退室)</p> |
| <p>・議第67号 教育長の営利企業等の従事について</p> | |
| <p>《福島慎一 教育政策課長 提出理由説明》</p> | |
| <p>[採決] 【原案どおり承認された】</p> | |
| | <p>(教育長入室)</p> <p>泉薫子 委員 ここから議事の進行を教育長にお戻しいたします。</p> |
| <p>・議第68号 熊本市立野外教育施設運営協議会委員の委嘱について</p> | |
| <p>《水町美延 青少年教育課長 提出理由説明》</p> | |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>ちょっと参考までに青少年教育課長に聞きますけれども、今後のスケジュールはどんな感じなのかを教えてください。</p> |

水町美延 青少年教育
課長

再建に向けてのスケジュールといたしましては、まずは今年度、どのような機能を持ってどんな施設にするかということを決めていく基本計画を策定してまいります。併せて、民間活力導入調査も開始しまして、PFIなど民間の活力が取り入れられるかどうかといったことも決めていきたいと考えています。その後、再建までは実施設計や基本設計、それから工事などを経て供用開始ということになりますが、他の事例から見ると約5年程度かかるものではないかと考えているところです。
スケジュールは以上です。

遠藤洋路 教育長

はい、分かりました。
他にありますか。よろしいですか。
では、他にご発言がないようですので、採決を行います。
議第68号について、ご承認いただくことにご異議ありませんでしょうか。

（異議なしの声）

遠藤洋路 教育長

ご異議なしと認めます。
議第68号 熊本市立野外教育施設運営協議会委員の委嘱については原案のとおり決定いたします。

〔採決〕 【原案どおり承認された】

・議第69号 熊本市学校給食運営協議会の委員の委嘱について

《中村順浩 健康教育課長 提出理由説明》

西山忠男 委員

所掌事務、第2条ですけれども、学校給食の運営に関することというのは具体的にはどういうことが議論になるのでしょうか。

中村順浩 健康教育課長

給食調理等の民間委託を行っておりますが、まずはその民間委託の評価等について一番大きな事項として協議し評価をしていただくということになります。

西山忠男 委員

分かりました。

遠藤洋路 教育長

他にいかがですか。

では、私から1点。今回公募をして公募委員が入っていますが、公募委員はどんな方ですか。

中村順浩 健康教育課長

公募委員については、松下みゆきさんという方で、当方で面接をいたしました。「けんこうアド」という会社の個人事業主で、以前佐賀市の教育委員会子ども課にお勤めです。管理栄養士の資格をお持ちで健康や食に関わりがある方です。また、現在熊本市の公民館運営審議会の委員にもなられています。熊本市のために尽力もいただいている方です。

遠藤洋路 教育長

分かりました。管理栄養士ということですから、結構専門的な知見をお持ちの方なんですね。

他にはよろしいですか。

では、他にご発言がないようですので、採決を行います。

議第69号について、ご承認いただくことにご異議ありませんでしょうか。

(異議なしの声)

遠藤洋路 教育長

ご異議なしと認めます。

議第69号 熊本市学校給食運営協議会の委員の委嘱については、原案のとおり決定いたします。

〔採決〕 【原案どおり承認された】

事業説明

・Kumamoto Education Week 2020 —【熊本発】新時代の学びの創造—

《森江一史 教育センター所長 報告》

遠藤洋路 教育長

ありがとうございました。

オンラインで中継を今ご覧になっている方は後で資料を載せるということにしたいと思いますが、ここにあるように、いろいろな教育関係のイベントをこの時期に集中してやるということで、1つのお祭りみたいなものです。ゆくゆくはこれをもっと世界的な大きな教育のイベントにしていきたいということで、その第1回なのでみんな日本語でやりますけれども、一応国際的な、OECDとかユネスコからのご協力も得てイベントしたいなと思っています。去年の9月にちょうどOECDのシュライヒャー局長をお呼びして1つセミナーというかシンポジウムやりましたけれども、それからの流れで、熊本発ということ、地方からも、もっと日本だけじゃなくて世界の教育に貢献できるような動きをつくっていききたいという趣旨ですので、もっといろんなものが増える可能性もあります。

もう1つ今調整中なのが、eスポーツの大会もこの時期に、高校生の大会もやりたいなということで進めているところです。

それから、関係するイベントで、もしここに乗られるものがあればこれからもさらに増やしていければなと思っています。

菅野先生には、パネルディスカッションで、ご参加をいただくことになっていきますけれども、これから他のイベントを増やしていくときに、もし他の教育委員の皆さんもご参加ご協力いただけるものがあればぜひお願いしたいなと思っています。ということで。

これは、森江所長、この色分けは何なんですかね、オレンジだったり、緑だったり水色だったりするのは。

森江一史 教育センター
所長

まず、緑の部分につきましては主に学校教育に関わる部分、オレンジの部分が社会教育に関わる部分、それから青の部分は一応熊大を中心に計画していただいたということで、こちらのほうでは分けておりますけれども、もうちょっと分かりやすくするためには、何か説明が入れるようであれば入れたいと思います。

遠藤洋路 教育長

そういう縦割りになってるわけね。中身の違いとか種類の違いじゃなくて。どこが主体かということで分けてるんですか、今のところ。

| | |
|-------------------|--|
| 森江一史 教育センター 所長 | はい。 |
| 遠藤洋路 教育長 | 分かりました。実際やるときには、参加する人はどこがや てるかというよりはどのような中身なのかとか、パネルディスカ ッションなのか実践発表なのか何なのか、そういうところが大 事なんでしょうから、そういう分類で見分けるようにしても らえるといいかなと思います。 |
| 森江一史 教育センター 所長 | はい、分かりました。 |
| 遠藤洋路 教育長 | ありがとうございました。ちょっと急をお願いしちゃってす みませんでした。 これについて何かご意見とか。 |
| 西山忠男 委員 | 2枚目、11月14日の「しなやかな心と体を育てる」とい うセミナーがございますが、これはどこかの小学校で特別授業 を行うというものなんですか。 |
| 森江一史 教育センター 所長 | ここは青少年教育課で講師をお願いしてありますが、基本的 にはオンラインで話をいたしますので、ちょっとまだ会場等ど こにするかは決まっておられませんけれども。オンラインでお話 をしていただく特別授業ということで聞いています。 |
| 西山忠男 委員 | 具体的な内容はどういう、「しなやかな心と体を育てる」って ちょっと抽象的でよく分からないんですけども、どういう内 容をイメージしておられるんでしょうか。 |
| 森江一史 教育センター 所長 | そこは今日担当がおりませんので、詳しくは言えませんが、 聞いております範囲では、お2人とも実際に体を使ったかたち で授業をさせてもらえるというふうに聞いております。お話だ けではなくてですね。 |
| 遠藤洋路 教育長 | 青少年教育課、何か聞いてますか。 |
| 水町美延 青少年教育 課長 | 例えば元ハンドボール日本代表の銘苅先生については、自宅 でできる心と体のトレーニングというテーマで調整していまし て、コロナでなかなか外で走り回ることができないので、家の中 でちょっと体を動かしたり、発散できるような子ども向けの |

| | |
|--------------|--|
| | トレーニングのイメージです。 |
| 西山忠男 委員 | 私の記憶違いじゃなければ、大村詠一さんは確かI型糖尿病の方じゃなかったですかね。だから、そういう病気を克服してこういう日本代表になったという、そういう体験談が聞けるならありがたいかなと思ったんですけども、そういう趣旨ですかね、こういう人選は。 |
| 遠藤洋路 教育長 | これはセミナーというのは話を聞くんですか、それとも今みたいにエクササイズみたいな。 |
| 水町美延 青少年教育課長 | エクササイズも取り入れる。 |
| 遠藤洋路 教育長 | 両方ですか。 |
| 水町美延 青少年教育課長 | エクササイズのほうは私も聞いてるんですけど、お話を中心にということはまだ確認できていないです。 |
| 遠藤洋路 教育長 | でも、3時間もあるでしょう、これね。だから、ずっとエクササイズしてたら多分途中で、ばてちゃうから、話ももちろんせつかくですから、お二方ともいろんな経験お持ちでしょうから、ぜひ聞きたいですよ。そこはそんな感じでアレンジしていただけるといいかなと思います。 |
| 水町美延 青少年教育課長 | はい。 |
| 遠藤洋路 教育長 | 苫野先生、何かありますか。 |
| 苫野一徳 委員 | じゃあ、ここでお聞きしていいのか分からないんですけど。 |
| 遠藤洋路 教育長 | 私は何をするんですかと。 |
| 苫野一徳 委員 | いえいえ。私が前に見させていただいたときに、15日の最後の「Well-beingを実現するための教育とは」に名前が入ってたんですけど、それはもう免除というか、言い方悪いですけども、削除されたという理解でよろしいでしょうか。 |
| 森江一史 教育センター | この人選につきましても、これまでいつも案を出していた |

| | |
|------------------|--|
| <p>所長</p> | <p>だき、そしてそれぞれのお立場からご発言いただくということで、教育委員会として苦野委員は教育委員でもいらっしゃいますので、遠藤教育長に教育委員会を代表してということかどうかということで。よろしいでしょうか。やっていただくという方法も、まだこれは決定じゃありませんので。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>替わりますか。</p> |
| <p>苦野一徳 委員</p> | <p>14日に存分にさせていただければと。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>熊本市教育委員会としてということここでここに教育長が入ってるわけですね。だったらこれは大体そういうのは最後に名前を出すんじゃないの、最初じゃなくて。まあいいや、それはいいですけど。</p> |
| <p>苦野一徳 委員</p> | <p>ついでによろしいですか。この「Well-beingを実現するための教育とは」というのはどういう意味なんですか。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>これは誰が説明するのがいいかどうか。これは塩津次長しかいないですね。</p> |
| <p>塩津昭弘 教育次長</p> | <p>元々OECDがEducation2030ということで、子どもたちの幸福を実現するためにというようなことで、私たちは今何をやらなくちゃいけないかというようなことが根底にありまして。特に今回コロナ禍というような中で、子どもたちに非常にきつい状況を、起こしたというわけじゃないですけど、結果的にそうなってしまって、その中で子どもたちに必要とされる力はどう確実につけていくのかというようなことで、今年こういうふうなことを実現して、来年度に向けてどうやっていくのかというようなことで。ここで積み上げていって、2030年に子どもたちの資質能力をしっかりと育てていくというふうなことで考えております。</p> |
| <p>西山忠男 委員</p> | <p>Well-beingというと、個人の今おっしゃった資質能力の話のように聞こえるんですけども、実際重要なのは社会的関係性だと思うんですね。例えばコロナで起こったことは、コロナにり患した人が差別される、こういうことが起こってるんですね。コロナ前には犯罪被害者が差別されるということが</p> |

遠藤洋路 教育長

ありますよね。なぜそんなことが起こるのか。犯罪に遭ったのはその人が悪いからだと思うことで自分を安全地帯に置くわけですよ。あの人が犯罪に遭ったのはあの人が悪かったから、あの人に原因があるんだ、自分はそんなに悪くないから犯罪には遭わないよという考えで差別してしまうんですね。そういう私はWell-beingを実現するためというのは、むしろ社会的関係性というものを正しく構築することでみんなが幸せになる社会を作るべきだ、そういうふうに思います。

今次長から説明があったように、OECDの最近提唱している言葉なんですけど、ここで言ってるWell-beingは個人のWell-beingと社会のWell-beingと両方なんです。ですから、Well-beingは幸福というか効用というか、いろいろな意味ありますけど、要するに幸せな人生と幸せな社会を実現するための教育ということで。

個人のWell-beingだけじゃなくて、よりよい社会を作るために行動できる、そういう人を育てるというための教育、両方入っている。ここで言ってるよりよい人生とよりよい社会を実現するとか、幸せな人生と幸せな社会を実現するとか、日本語で言うとそういう感じですね。そのために主体的に行動できる人を育てると。これは熊本市の教育振興基本計画の基本理念でもありますけれども。まさにそのための教育はどういう教育がこれから必要かという、こういうトークセッションの趣旨です。

どちらが優先とかいうことではなくて、やっぱり個人の幸せと社会の持続可能性と両方必要だよという、そういうことですね。

塩津昭弘 教育次長

加えてなんですけども、結局学校教育、それから社会というようなことで、よりよい社会のためには学校教育もそれから社会もというようなことで、社会全体に開きたいというようなことで今回社会教育の分野も加わっていただいて、子どもを取り巻く全ての大人だったり子どもだったり教師だったり、それぞれのエージェンシーをつけていこうというふうなことで取り組むものでございます。

遠藤洋路 教育長

新しい学習指導要領でもそういう方向性になっていて、社会に開かれた教育課程ということになっています。それはやっぱ

| | |
|-------------------|---|
| | <p>り個人、学校教育も社会教育もそうですけれども、それぞれの個人が自分の人生、社会をもっとよりよいものに少しでもしていくために何ができるかということ、教育を通じて考えて行動できるようにしていくという、これがこれから必要だろうと思いますね。そんな意味でのWell-beingということですね。</p> |
| 泉薫子 委員 | <p>今の付け加えてなんですけども。今おっしゃった最後のトークセッションの題がやはり大きくて中心になる内容のような気がするんですけども、このとてもいい取り組みだと思んですが、貫いているテーマが「新時代の学びの創造」になっているんですけども、それよりも最後のこのトークセッションの題のほうが大きいというか、こちらが主な目的で、その中の一つが学びの創造だったり、ICTの活用だったり、社会との関わりだったり、体と心だったりという内容になっているので、テーマの大きさが違うような気がするので、大きなテーマをこちらにされて、1つ1つのテーマを分けた方が分かりやすいかなと今聞いていて思いました。</p> |
| 森江一史 教育センター 所長 | <p>ありがとうございます。</p> |
| 泉薫子 委員 | <p>貫くテーマを1つ作った方がいいと思うんですよ。いろんな日によってテーマが違うので、そういう子どもたちを取り巻くこれからのよりよい教育を目指してという大きなテーマが最後にきてますね、これが大きなテーマでというふうにした方がいいんじゃないかなというふうに聞いて思いました。</p> |
| 森江一史 教育センター 所長 | <p>そうさせていただきたいと思います。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>「新時代の学びの創造」というと何でもありなテーマでもありますけど、より具体的には今言ったような。</p> |
| 西山忠男 委員 | <p>もし泉委員のご提案のようにするならば、やはりそのWell-beingとは何かということをちゃんと説明してもらわないと誤解されます。</p> |
| 泉薫子 委員 | <p>言葉をちょっと変えた方がいいかもしれないですね。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>西山忠男 委員</p> | <p>OECDのその定義私も存じませんで、不勉強で失礼しましたけども、一般の人はWell-beingと聞いたらやっぱり個人のことを考えてしまいがちだと思うんですね。社会も含めてWell-beingなんだということをやはりどこかでちょっと簡単に解説してもらわないと分かりにくいと思いますね。</p> |
| <p>森江一史 教育センター 所長</p> <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>7月の教育委員会会議でちょうど教育大綱、教育振興基本計画での、その基本理念、この意義なんですよ、豊かな人生とよりよい社会の創造。</p> |
| <p>泉薫子 委員</p> | <p>それをテーマにして持ってきたらどうでしょうか。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>そうですね、日本語にするとそういうことですから、その言葉にした方がいいかもしれませんね。</p> |
| <p>泉薫子 委員</p> | <p>熊本市の教育大綱でもあるしですね。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>まあ、皆さんご存知のとおりだと思います。</p> <p>じゃあ、その辺はちょっと教育センターのほうでもまた検討してもらって。いいですか。</p> |
| <p>森江一史 教育センター 所長</p> | <p>はい、分かりました。ありがとうございました。</p> |
| <p>小屋松徹彦 委員</p> | <p>1点よろしいですか。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>小屋松委員、どうぞ。</p> |
| <p>小屋松徹彦 委員</p> | <p>図の中の青の部分ですね、青で白抜きの、この部分の時間帯というのは「未来の教室×熊本市」と書いてありますけれども、具体的にはこの部分というのは他の部分とどういうところが違うんですかね。子どもたちが例えば聞くとか、そういう時間帯ということではないんですか。「未来の教室」というのは具体的にどういうイメージなのかなと。</p> |
| <p>森江一史 教育センター</p> | <p>この「未来の教室」の名称は、経済産業省が使っている言葉</p> |

| | |
|----------------------------|---|
| <p>所長</p> | <p>で、今回このEducation Weekに経済産業省も共催というかたちで入っていただきましたので、経済産業省にご相談をして、この中のこの3つの部分につきましては「未来の教室」という位置づけをしていいということと、経済産業省も「未来の教室」として行うということを推進するということで使わせてくださいというようなことでしたので、この名前を付けてありますが、特にこの部分が、子どもが聞くということではございません。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>「未来の教室」という経済産業省のやってる事業名だということですか。</p> |
| <p>小屋松徹彦 委員</p> | <p>事業名になるんですか。</p> |
| <p>森江一史 教育センター 所長</p> | <p>はい。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>その事業として位置づけてこの時間はやりますよということですよ。</p> |
| <p>森江一史 教育センター 所長</p> | <p>はい。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>共催が経済産業省とNTTドコモと、あと文科省は予定と書いてあるから予定なんですかね。 そういうことでいろんな関係するところが、それぞれ位置づけてやるということですね。</p> |
| <p>小屋松徹彦 委員</p> | <p>すみません、不勉強で申し訳ないんですけど、「未来の教室」というからには、現在の教室との対比というかそういうような考え方があるんですか。未来ってどういう意味なんですか。「未来の教室」ってどんな施策なのかなと思って。</p> |
| <p>本田裕紀 教育センター 副所長</p> | <p>ちょっと今すぐパッと答えることができませんが、「未来の教室」として経済産業省が進めている方向性が、STEAMというサイエンス、テクノロジー、それとエンジニアリングと、アートと、マスマティクスです。このSTEAM教育というのを今経済産業省が進めておりまして、こういったICTを使いながらプロジェクトベースドラーニングを進めていくような、自分たちで課題を見つけてみんなでそれを解決していく教</p> |

| | |
|----------------|---|
| | <p>育の在り方といったものが今進められております。そういったコンセプトで今やっていっている取組を経済産業省としてもいろんな各地でキャラバンみたいなことをやって取り組んでいらっしゃると思いますので、そこに一緒に熊本市としてコラボして行っていくというようなことでございます。</p> |
| 小屋松徹彦 委員 | <p>この13日の講演会を聞くといいですね。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>「未来の教室」は、経済産業省の説明では、経済産業省がE d T e c h、個別最適化、文理融合（S T E A M）、社会課題解決をキーワードに、効率的な知識習得と創造的な課題発見、解決能力育成を両立する新たな学習プログラムの開発、実証を行うと、こういう事業だと書いてあります。今副所長が説明したこと、経済産業省の公式見解で言うとそういうことになります。</p> |
| 小屋松徹彦 委員 | <p>勉強させてもらいます。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>だから、これからこういうふうに学校が変わっていくよという未来像というものをできるだけ具体的に示そう、実証しようということですよ。</p> |
| 小屋松徹彦 委員 | <p>いずれは学校の中に入ってくるような、そういうイメージを持ってらっしゃるんですかね。</p> |
| 本田裕紀 教育センター副所長 | <p>今学校のほうも授業改善を進めておりますけれども、いろんな総合的な学習の時間ですとか、教科横断的に大きなP B Lを回していくような、課題解決できるような取り組みを今行っておりまして、H i g h T e c h H i g h（ハイテクハイ）で行っているようなP B Lを将来的には日本の教育の中でもこれからカリキュラムを開発しながら取り組んでいくというふうな方向性はあるのかなと考えているところでございます。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>今の補足で説明しますけど。熊本市でも今タブレット、電子黒板導入していますよね。1人1台にこれからなるわけですけど、そのときに例えば個別最適化だったらそれぞれの子どもに合った問題が自動的に出てくるようなドリル、もう既にありますけれども、そういうものを導入するというのも1つですし、先ほど副所長から説明があったように、タブレットなんかを使</p> |

| | |
|-----------------|---|
| | <p>ってみんなで協同して課題を解決する、あるいは熊本市の課題についてみんなで調べて、それについて解決策を考えて発表する、プレゼンテーションするとか、あるいは個別の企業の何か課題について、商品開発とか、例えばですね。そういうものをみんなでやって企業に提案するとか。そういう社会課題の解決と、それからそれぞれの1人1人のさっきのWell-being、個人個人の幸せな人生のための成長と、そういうものをEdTechですね、技術的なものを使って実現していこうという、そういう事業ですよ。</p> <p>そんな具体例も交えながら、これからの「未来の教室」がどんな教室になっていくのかということを含めてみんなで議論するとか、経済産業省が今やっていることの実例を紹介するとか、そんなふうな時間だと思っていただけるといいんじゃないかなと思います。</p> |
| <p>西山忠男 委員</p> | <p>私は「未来の教室」がSTEAM教育だというのは非常に違和感がございます。STEAM教育というのは科学技術ですよ。経産省だから当然ですけど。私は科学技術のほうの人間ですけども、現在も人文社会科学非常に軽視されている現状を憂慮しています。一時期文科省が国立大学の文系学部なくしてしまえという暴論を言ったことがございますけれども、もう全体的にあまりにも科学技術一辺倒で、経済優先で、人文社会科学が貶められているこの現状はとても問題だと思っています。「未来の教室」でこういうSTEAM教育ばかりやっても、不登校やいじめ、差別の問題は絶対になくならないと思います。やはり人間の根幹にあるのは心の問題ですから、心の問題というのは人文社会科学じゃないと解決できない問題です。だから、私はもっとしっかりした人文社会教育を行うべきだと思っています。そういう意味ではこの科学技術一辺倒のSTEAM教育イコール「未来の教室」だという考え方には賛成ができません。意見です。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>今の西山委員のような問題意識があったので、以前はSTEMだったものにA、アートが入ったんですよ。人文。</p> |
| <p>西山忠男 委員</p> | <p>アートに全部一応入れてるんですね。</p> |
| <p>遠藤洋路 教育長</p> | <p>はい。数でいうとすごい少ないので、5分の1ですけど、要</p> |

| | |
|-------------------|--|
| | <p>するに全部そういう技術的な話じゃなくて、やっぱり心の問題、アートの問題が不可欠だよねということでSTEAMになったんですよね。だから、もっとAをいっぱい入れておくといいかもしれないですけど。目立たないけど、ここに入ってる、まさにそういう批判があったからSTEMからSTEAMになったんですよね。Aをちょっとでかく書くとか何かあると思うんですね。理系的なものというか、そういうものに思われがちでは確かにあると思います。そこは経産省にも例えばパネルディスカッションのときに苫野委員からもぶつけていただけないかもしれませんけどね。ぜひ、熊本市の教育委員会でもそういう意見が出たということで、Aをもっとでかくしたらいいんじゃないかと、経産省に伝えて。</p> |
| 苫野一徳 委員 | <p>それはいいアイデアですよ、他を小文字にして、Aだけ大きく。</p> |
| 泉薫子 委員 | <p>色を変えるとか。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>そんな感じですかね。よろしいですかね。大丈夫ですか。では、本件は以上にいたします。</p> |
| 森江一史 教育センター 所長 | <p>準備ができず申し訳ありませんでした。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>いやいや、こっちが急に言ったので。</p> |
| 森江一史 教育センター 所長 | <p>先ほど教育長からありましたように、これからまだプログラムが付け加わっていきます。今ネット上にも一応「Kumamoto Education Week」で検索していただくと出てるんですけども、順次更新してまいりますので、また見ていただいてご指導いただきたいと思います。ありがとうございました。</p> |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>何かこういうのをやってほしいとかあれば、遠慮なく言っていただければ企画しますので、よろしく申し上げます。</p> |
| 〔閉会〕 | |
| 遠藤洋路 教育長 | <p>本日の日程は全て終了したので、令和2年9月の定例教育委員会会議を閉会いたします。</p> |

| | |
|--|--|
| | |
|--|--|